

事務連絡
令和5年2月1日

各区長様

三木市立総合隣保館長

「隣保館だより」の回覧について(依頼)

春寒の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申しあげます。

日頃は、隣保館事業の推進につきまして格別のご理解ご協力を賜り、厚くお礼申しあげます。

さて、「隣保館だより」の全戸回覧について、お忙しいところお手数をおかけしますが、ご協力いただきますようお願いいたします。

記

- 1 送付物 隣保館だより 2月号
- 2 送付部数 回覧部数分
- 3 連絡先 三木市志染町吉田823
三木市立総合隣保館
TEL 82-8388 担当：赤松・橘田

隣保館だより

2月号 No.499

つなごう手と手
築こう心の架橋を



[発行・編集]

令和5年2月1日発行

三木市立総合隣保館 〒673-0501 三木市志染町吉田 823

お問い合わせ

TEL

82-8388

FAX

82-8658

E-mail

jinken@city.miki.lg.jp

豊かな人権感覚を

～人権擁護委員の活動を通して～
志染保育所での人権教室

次ページは 多様な作業への チャレンジを通して

～障がい者雇用の裾野を広げる～
です

人権擁護委員の活動とは…?

人権擁護委員24名(三木市:11名、明石市:13名)により構成された明石人権擁護委員協議会では、「誰か」のことじゃない。を重点目標として、主に次の活動をされています。



①人権相談活動…三木市内においては、緑が丘町公民館、三木市役所、三木市吉川支所にて併せて年28回の特設人権相談所を開設しています。また、全国の小・中学校等の児童・生徒を対象とした「子どもの人権SOSミニレター」事業として、児童・生徒と人権擁護委員との手紙のやりとりを通じて、こどもたちの悩みごとの相談対応を行う活動を行っています。

②人権啓発活動…学校園との関連で

- ・全国中学生人権作文コンテスト兵庫県大会明石三木地区予選を実施しています。三木市では同予選に応募した11点を「人権作文集第52集」に掲載し、公民館にも配置します。
- ・人権の花運動…三木市では3校園で実施
- ・人権教室…三木市では3園で実施。

志染保育所での人権教室の紹介…

先日、人権擁護委員5人によって実施され、子どもたちはペープサートに見入っていました。これは、人権擁護委員の手作りの作品で、題名は「クーちゃんとマーくん」です。



野ネズミさんの指遊びでリラックス

他人を思いやり、助け合う心の大切さを学ぶ
を目標に、こどもたちにやさしく語りかけます。



仲の良いクマのクーちゃん和マーくん。冬眠前、お腹が空きすぎたマー君はもう動けません。クーちゃんは木の実を見つけ、一人で食べようと思いました(子どもたちは、「あかんあかん」と反応)が、マーくんを思い一緒に食べることにします。お腹いっぱいになった2人はそれぞれの穴に帰ります。でもマー君は何か心に引っかかるものがあり眠れません。クーちゃんに「ありがとう」とお礼を言うのを忘れていたのです。慌ててマー君のところに行き、「ありがとう」と言います。クーちゃんは自分一人で食べようと思っていたことを謝りました。二人は幸せそうな顔をして眠りにつきました。

子どもたちは…「おやつは、みんなで一緒にたべるよ」「マーくんが倒れているから助けてあげよう」「友だちと分けっこしたら、楽しく食べられるよ」など、マーくんと一緒に食べようと思ったときのクーちゃんの気持ちを、自分に照らし合わせて想像していました。

「ありがとう」「ごめんね」は、大切な気持ちだね。これからもなかよく助け合って遊んでね。とのまとめのあいさつに、「明日もきてね」と言ってくれる素直な子どもたちでした。

1月号表紙右側写真の下、「すべてに…」の段落に脱字がありました。お詫びして訂正します。

(正)すべてに感謝されて生きていらっしやる姿に感銘を受けました。ほんとうにありがとうございました。人を認める生き方をしていきたいと思ひます。

人権の小窓

多様な作業へのチャレンジを通して

～障がい者雇用の裾野を広げる～

●会社概要

弊社では、パート・アルバイト含む19名の仲間と一緒に仕事をしています。19名の内、現在3名の障害者雇用(発達・知的)があり、障がいのある当社専務(透析治療中・人工関節・身体障害者1級)と共に、2×4住宅の接合金物やシステム建築屋根部材などの建築金物を主に製造しています。また、福祉用具(主に踏み台)の開発・製造・販売も手掛けています。

●障害者雇用に至った経緯

かねてより、漠然と「世の中の役に立つ企業でありたい」との思いがありました。しかしながら、何をすればよいのか…社内で障がいのある人ができるような仕事はないし、危険を伴うプレス作業もしてもらえそうにないし、…と深く考えもしなかったのが正直なところです。

そんな折、三木市障害福祉課より障害者職場実習事業の受け入れ要請がありました。市内でもなかなか受け入れてもらえるところがないとの事。どう対応すればいいのかと思いながら、よくよく話を聞くと就労支援員の方に終始付き添っていただけるとの事で、受け入れをスタートしました。

●「障害者の多能工化への飽くなき挑戦」

この挑戦の目的は「企業としてのマンパワーの向上と障がいのある従業員のモチベーションの向上」にあります。障害者雇用開始当初は単一作業を繰り返

東光機材株式会社

代表取締役

ふじ た たか ひろ
藤田 高弘

専務取締役

ふじ た おさむ
藤田 治

三木市岩宮の東光機材(株)です。令和4年、兵庫県内におけるユニバーサル社会を目指した先導的な実践活動を顕彰する「ユニバーサル社会づくり兵庫推進会議会長賞」を企業部門で受賞しました。

し行っていましたが、徐々に慣れてきたので、別の作業にもチャレンジしてもらおうという事になり、支援センターの方にサポートしてもらいながら取組を進めています。

ある女性従業員の場合、スポット溶接作業のみでしたが、製品の選別作業やプレス作業に挑戦中です。



多能工として新たなプレス作業にチャレンジしている姿

また、別の男性従業員の場合は、単一のプレス作業から数種類のプレス作業にチャレンジしてもらっています。当初は正確に作業する事だけを念頭に置いていたが、我々や

支援センターの方の想像以上にスムーズに作業ができるようになっていきます。

また、多能工化への取組を始めてから、他の従業員と仕事をしていく中で、会社全体に障害者雇用への理解が深まり、相互に積極的にコミュニケーションを図れるようになりました。障がいのある従業員にも、できる事がさらに多くなるよう、新しい仕事にチャレンジして欲しいと思っています。そして障がいのある従業員一人一人の日々のやりがいや生きがいが、仕事を通じて高まるようサポートしていきたいと思っています。

●最後に

ある程度の規模の企業であれば、障害者雇用に対して、それなりのノウハウや、それに関わる専門的な部署や人員が配置されている場合もあります。でも、我々小企業や零細企業では、社内に於いてあらゆる仕事を掛け持ちながら、手探りで一人一人と向き合っていく気持ちが必要です。各企業の社風や考え方にもよりますが、支援機関や就労支援員さんから、障害者雇用というバトンを引き継いだ以上は、障がいのある一人一人がこれまで学んできた事を自社の職務に於いて、遺憾無く発揮してもらえよう、環境を整えなければなりません。

それは決して大袈裟な事ではなく、ちょっとした作業場のレイアウト変更であったり、社内の掲示板に漢字ばかりでなく、平仮名を使ったりといった事でも随分と変化は出てくるように感じます。障がいのある従業員が仕事しやすいという事は、他の従業員にとってもそうであるように思います。

日々の態度・行動を見ていて、やれるのでは？と判断すれば、先ず試してみる。私が気づかなかった思わぬ能力を発揮してくれることを期待して。ダメでもともと。うまくいけば本人も会社もパワーアップします。今までの環境下では見出しきれなかった能力を見出し、自社の職務にうまく転換して働き続けることができるようにしていくことが、雇う側の責務であるように私は考えています。

……福祉事業部の取組の紹介……

共用品をめざしたモノづくり

平成24年10月号の隣保館だよりで、ユニバーサルデザイン(以下UD)について書かせていただきました。実はUDをもう少し穏やかに表現した「共用品」という言葉があります。日本発信のグローバルスタンダードとして認知されています。

「障害の有無に関わらず、より多くの人にとって使いやすい製品や利用しやすいサービス」という意味を表しています。

私たちの会社もできる限り、この考え方に沿ったモノづくりを心掛けています。約20年前に福祉事業部を立ち上げました。そして福祉用具から、「踏み台」事業へとシフトしていきました。ある日、理学療法士の方と雑談をしていますと、「私の家では、浴室用の入浴台を台所で使っています」と言われ、その時に福祉用具を日常でも使うことがあるのに気が付きました。座面(踏面)が広く、安心して使用できる踏み台…そこから踏み台づくりがスタートしました。製品の開発にあたってはさまざまな研究会や各専門分野の方々の協力のおかげで、製品化することができました。近年、ブランドとして「ガチ楽踏み台」を立ち上げました。意味は、「ガッチリして楽に楽しく」の意味を込めています。現在、様々な分野で、その用途に見合った踏み台を提供しています。

一例をご紹介します。「ステップバイステップ」という名前で、用途は車に乗り降りするときの補助台です。

特徴は次の通りです。

①軽くて持ち運びが楽(1.4キロ)

②雨天でも滑りにくい
ノンスリップシート付き

③ノンスリップシートは
側面までありますの



で、足が上がりにくい人でも安心です。

④足腰の弱った方・小さな子ども・妊婦の方も利用できます。(高さ20cm)

⑤側面に超高輝度の反射テープを4か所取り付け、車のライトに反射して踏み台の位置を知らせてくれます。

これからも「共用品(UD)」をテーマに「人に優しいモノづくり」を目指していこうと思います。



日	曜	催し・講座など	日	曜	催し・講座など
1	水	子育てキャラバン 10:00~	15	水	
2	木		16	木	
3	金	経営相談 10:00~	17	金	
4	土	書を楽しむきらきら教室 13:00~ 茶道教室 9:00~	18	土	
5	日		19	日	
6	月		20	月	
7	火	経営相談 10:00~	21	火	
8	水		22	水	
9	木	手芸サークル 13:30~	23	木	天皇誕生日
10	金		24	金	フラワーアレンジメント教室 19:30~
11	土	建国記念の日	25	土	茶道教室 9:00~
12	日		26	日	
13	月		27	月	エアロビクス体験 14:30~
14	火		28	火	



【人権に関する記念日等】(2月)
 21日 国際母語デー 言語と文化の多様性、多言語の使用、あらゆる母語の尊重の推進を目的として、ユネスコが1999年に制定。

募集 フラワーアレンジメント教室
「おひなさま」 講師：田中真紀さん
 日時：2月24日(金) 19:30~
 会場：三木市立総合隣保館 中会議室
 参加費：3,500円
 持ち物：はさみ、円形の花器(直径18cm、高さ5~6cm)
 申し込み：2月20日(月)までに隣保館82-8388へ

参加者募集 参加費：**無料**
「エアロビクス体験」
 ※音楽を聴きながら体をゆるめましょう♪
 ※脂肪燃焼, 基礎代謝UP, スタミナがつく, ストレス解消に...
 と き：2月27日(月) 14:30~15:30
 と ころ：三木市立総合隣保館
 講師：寺坂恵美子さん
 対象：どなたでも
 持ち物：ヨガマット(バスタオルでもOK)
 汗拭きタオル, 体育館シューズ, 飲み物
 申し込み：三木市立総合隣保館
 Tel: 82-8388 Fax: 82-8658
 メール: jinken@city.miki.lg.jp

フィールドワーク徳島のご案内

◆日時 2月25日(土)
 8:00 出発~17:30 帰着
 ◆集合 三木市文化会館駐車場
 (三木市立教育センター前)
 ◆見学 伝統芸能「阿波木偶(人形)箱まわし」と「阿波踊り」
 ①阿波木偶文化資料館では、部落の伝承文化である「三番叟(さんばそう)」を復活するに至った人々の思いに触れ、人としての尊厳や誇りについて考える機会にします。
 ②阿波踊り会館では、四国三大祭りのひとつである阿波踊りを体験し、400年以上受け継がれて来た庶民の心意気を体感します。
 ◆参加費 2,000円(入館料・保険・弁当代)
 (高校生以下1,500円) ◆定員 40名
 ◆申込期限 2月22日(水)までに名前と住所・連絡先電話番号をお知らせください。定員に達した場合は受付を終了します。
 ◆申し込み：問い合わせ先
 三木市人権・同和教育協議会まで
 Tel: 82-8388
 Fax: 82-8658
 メール: sandoukyo@ns.miki.ed.jp